sangetsu

2027年3月期 第2四半期（中間期）
決算・経営戦略説明資料

2026年11月25日
株式会社サンゲツ
証券コード：8130
(東証プライム、名証プレミア)

©Copyright Sangetsu Corporation

1.	2027年3月期 第2四半期（中間期）実績	P.3～15
2.	2027年3月期 業績予想	P.17～20
3.	「中期経営計画 2029」進捗	P.22～40

©Copyright Sangetsu Corporation

業績ハイライト

実績

- 売上高および各利益は過去最高を更新。
- 売上高は、国内インテリアセグメントと海外セグメント（北米）が牽引し、前年同期比で増収。
- 営業利益は、第1四半期に続き、国内インテリアセグメントの伸長および海外セグメントの黒字転換により、前年同期比で増益。
- 中間純利益は、各利益の増益に加え、特別利益（助成金収入・退職給付制度終了益等：約9億円）計上もあり、前年同期比で大幅な増益。

売上高	**1,050.2**	億円	YoY ＋6.2%	**営業利益率**	**9.8** %	YoY ＋1.5pt
営業利益	**102.7**	億円	YoY ＋25.5%	**中間純利益**	**83.1**	億円	YoY ＋31.8%

業績予想（11月13日修正）

- 中東情勢の影響や価格改定の浸透等を踏まえ、連結売上高・各利益を上方修正。
- 中間時点では、1株当たり年間配当金予想155.0円（中間77.5円・期末77.5円）を据え置く。
  なお、成長投資・株主還元方針に基づき、期末に向けた業績進捗等を踏まえて、改めて判断する。

売上高	**2,170**	億円	期初計画比 ＋1.9%	**営業利益率**	**9.9** %	期初計画比 ＋1.0pt
営業利益	**215**	億円	期初計画比 +13.2%	**当期純利益**	**160**	億円	期初計画比 ＋18.5%

sangetsu ※中間（当期）純利益：親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

©Copyright Sangetsu Corporation

連結損益計算書

	2026年3月期		2027年3月期				
	2Q	上期	2Q	上期		通期	
	実績		実績		前年同期比	予想 5月公表	進捗率
売上高	495.0	988.9	**510.8**	**1,050.2**	+61.3 (+6.2%)	2,130.0	49.3%
売上総利益	153.9	306.2	**165.2**	**332.6**	+26.4 (+8.6%)	663.0	50.2%
利益率	31.1%	31.0%	**32.3%**	**31.7%**	+0.7pt	31.1%	-
販売費及び一般管理費	111.7	224.3	**115.7**	**229.8**	+5.5 (+2.5%)	473.0	48.6%
営業利益	42.2	81.8	**49.4**	**102.7**	+20.9 (+25.5%)	190.0	54.1%
利益率	8.5%	8.3%	**9.7%**	**9.8%**	+1.5pt	8.9%	-
経常利益	44.7	85.2	**50.9**	**107.6**	+22.4 (+26.3%)	192.0	56.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	35.4	63.1	**35.6**	**83.1**	+20.0 (+31.8%)	135.0	61.6%

単位：億円

©Copyright Sangetsu Corporation

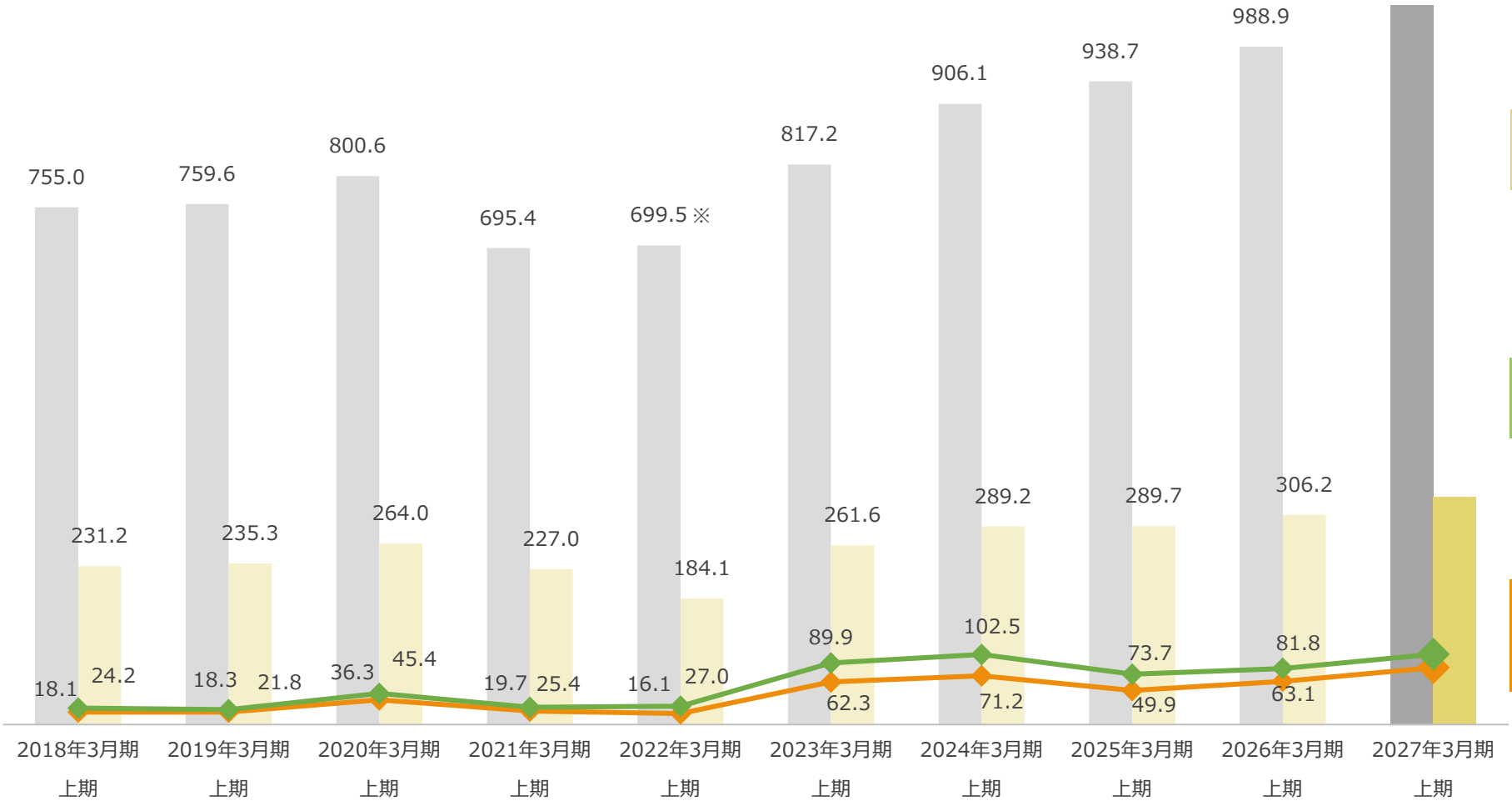
連結損益計算書

	2026年3月期					2027年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	1Q	2Q	3Q	4Q	上期
	実績					実績				
売上高	493.8	495.0	525.1	550.3	988.9	539.3	**510.8**			**1,050.2**
売上総利益	152.2	153.9	167.9	173.1	306.2	167.4	**165.2**			**332.6**
利益率	30.8%	31.1%	32.0%	31.5%	31.0%	31.0%	**32.3%**			**31.7%**
販売費及び一般管理費	112.6	111.7	113.7	115.0	224.3	114.1	**115.7**			**229.8**
営業利益	39.6	42.2	54.1	58.0	81.8	53.2	**49.4**			**102.7**
利益率	8.0%	8.5%	10.3%	10.6%	8.3%	9.9%	**9.7%**			**9.8%**
経常利益	40.5	44.7	55.3	60.9	85.2	56.7	**50.9**			**107.6**
親会社株主に帰属する中間純利益	27.7	35.4	38.7	44.5	63.1	47.5	**35.6**			**83.1**

単位：億円

©Copyright Sangetsu Corporation

連結売上高・売上総利益・営業利益・中間純利益の推移



売上高

1,050.2 億円

（前年同期比：+6.2%）

売上総利益

332.6 億円

（前年同期比：+8.6%）

営業利益

102.7 億円

（前年同期比：+25.5%）

親会社株主に帰属する中間純利益

83.1 億円

（前年同期比：+31.8%）

※2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

©Copyright Sangetsu Corporation

セグメント別業績

単位：億円

	2026年3月期		2027年3月期				
	2Q	上期	2Q	上期		通期	
	実績		実績		前年同期比	予想（5月公表）	進捗率
国内インテリア 売上高	390.2	780.1	**405.2**	**844.6**	+64.5 (+8.3%)	1,695.0	49.8%
壁 装 ユニット	193.5	393.4	**192.8**	**410.3**	+16.8 (+4.3%)	-	-
床 材 ユニット	130.8	258.6	**141.1**	**290.9**	+32.3 (+12.5%)	-	-
ファブリック ユニット	24.6	48.2	**25.5**	**50.7**	+2.4 (+5.1%)	-	-
施 工・そ の 他	41.1	79.7	**45.6**	**92.5**	+12.8 (+16.1%)	-	-
営業利益	42.1	82.5	**48.4**	**101.3**	+18.7 (+22.7%)	182.0	55.7%
国内エクステリア 売上高	17.0	33.8	**16.0**	**32.4**	▲1.3 (▲4.1%)	73.0	44.4%
営業利益	0.2	0.3	**▲0.2**	**▲0.5**	▲0.9 (-)	1.0	-
海外 売上高	87.7	175.0	**89.5**	**173.2**	▲1.7 (▲1.0%)	362.0	47.9%
営業利益	▲0.2	▲1.0	**1.3**	**1.9**	+3.0 (-)	7.0	28.4%
セグメント間取引調整(売上高)	▲0.0	▲0.0	**▲0.0**	**▲0.0**	▲0.0 (-)	-	-
セグメント間取引調整(営業利益)	0.0	0.0	**0.0**	**0.0**	+0.0 (+11.6%)	-	-
連結売上高	495.0	988.9	**510.8**	**1,050.2**	+61.3 (+6.2%)	2,130.0	49.3%
連結営業利益	42.2	81.8	**49.4**	**102.7**	+20.9 (+25.5%)	190.0	54.1%

©Copyright Sangetsu Corporation

セグメント別業績

国内インテリアセグメント

- 中東情勢等に起因するコスト上昇が本格化する一方、2026年7月に商品価格改定を実施し、上期累計で単位当たり総利益が増益。
- 数量面では、価格改定前後で駆け込み需要や反動減が発生する中、パートナー企業との連携による安定供給に努めるほか、成長市場でのポジショニング向上により、上期累計で前年同期並みの推移。
- 第1四半期に続き、仕入先工場火災事故に伴う供給制約からの回復や、販管費の適切なコントロールも奏功。

単位：億円

	2026年3月期					2027年3月期							
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	前年同期比（上期）	予想 5月公表	通期進捗率 5月公表
売上高	389.8	390.2	420.3	440.5	780.1	439.4	**405.2**			**844.6**	+64.5 (+8.3%)	1,695.0	49.8%
営業利益	40.3	42.1	52.0	58.7	82.5	52.8	**48.4**			**101.3**	+18.7 (+22.7%)	182.0	55.7%
利益率	10.4%	10.8%	12.4%	13.3%	10.6%	12.0%	**12.0%**			**12.0%**	+1.4pt	10.7%	-

©Copyright Sangetsu Corporation

セグメント別業績

国内エクステリアセグメント

- グループ会社のサングリーンでは、主要メーカー品の販売伸び悩みや天候不順による施工延期、一部商品においては震災による納期遅延の影響が重なり、前年同期比で減収および営業損失を計上。
- 同社のプライベートブランド「Greenscape」の販売エリア拡大・市場浸透に努めたほか、当社と連携したインテリア・エクステリア一体での受注等が進捗。
- 業績予想比（5月公表）に対する進捗は厳しいものの、着実に受注も積み重ねており、下期での挽回を目指す。

単位：億円

	2026年3月期					2027年3月期							
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	前年同期比（上期）	予想 5月公表	通期進捗率 5月公表
売上高	16.7	17.0	19.2	20.0	33.8	16.3	**16.0**			**32.4**	▲1.3 (▲4.1%)	73.0	44.4%
営業利益	0.1	0.2	0.3	0.4	0.3	▲0.2	**▲0.2**			**▲0.5**	▲0.9 (-)	1.0	-
利益率	0.7%	1.5%	2.0%	2.1%	1.1%	-	-			-	-	1.4%	-

©Copyright Sangetsu Corporation

セグメント別業績

海外セグメント（連結累計期間は2026年1～6月）

- 北米は第2四半期も堅調に推移した一方、アジア（インテリア・海外空間総合事業）は、中国品との競合激化や中東情勢による需要減等の影響により減収。その結果、セグメント全体で前年同期比減収。
- 北米は増収に伴い利益が拡大。また、アジアは、中国・香港の構造改革・コスト圧縮と、海外空間総合事業における前期の一過性コストの剥落により損益改善。セグメント全体で前年同期比増益。
- 業績予想（5月公表）に対しては、 北米は堅調に推移したものの、東南アジアの不振により上期の進捗は厳しい状況。

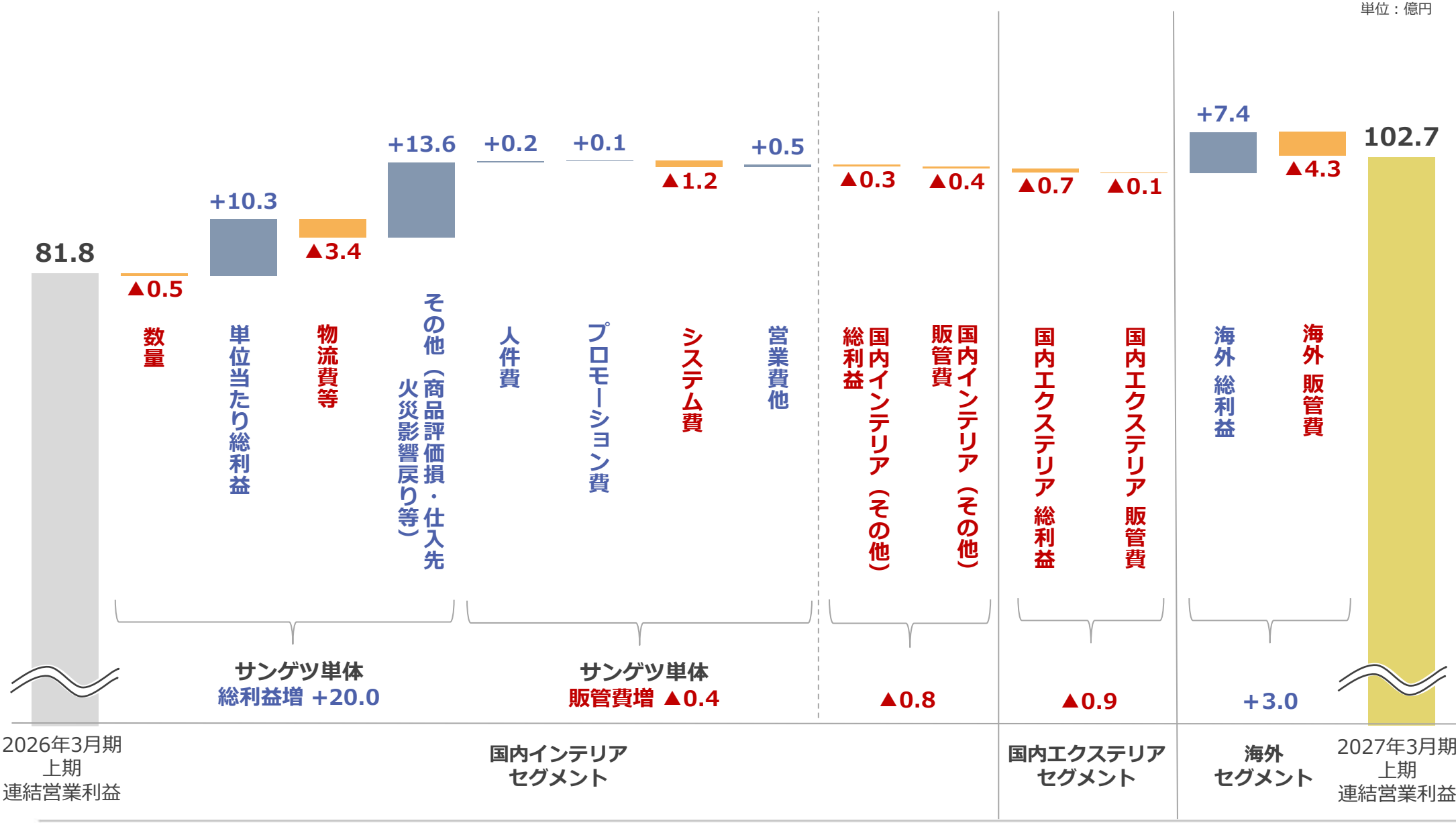
単位：億円

	2026年3月期					2027年3月期							
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	前年同期比（上期）	予想 5月公表	通期進捗率 5月公表
売上高	87.2	87.7	85.4	89.8	175.0	83.6	**89.5**			**173.2**	▲1.7 (▲1.0%)	362.0	47.9%
営業利益	▲0.8	▲0.2	1.7	▲1.1	▲1.0	0.6	**1.3**			**1.9**	+3.0 (-)	7.0	28.4%
利益率	-	-	2.0%	-	-	0.8%	**1.5%**			**1.1%**	-	1.9%	-

©Copyright Sangetsu Corporation

連結営業利益増減（前年同期比 4-9月）

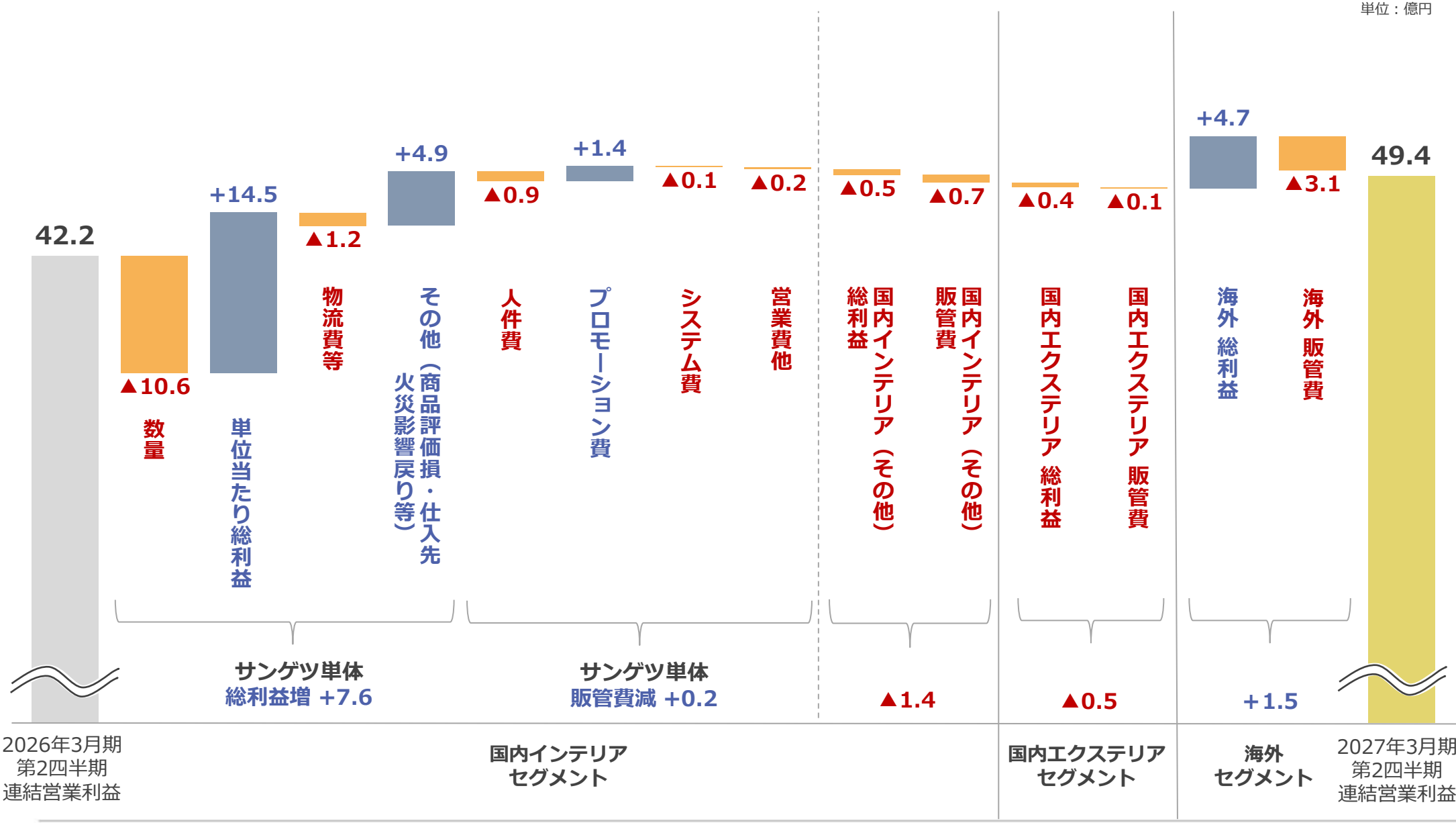
単位：億円



©Copyright Sangetsu Corporation

連結営業利益増減（前年同期比 7-9月）

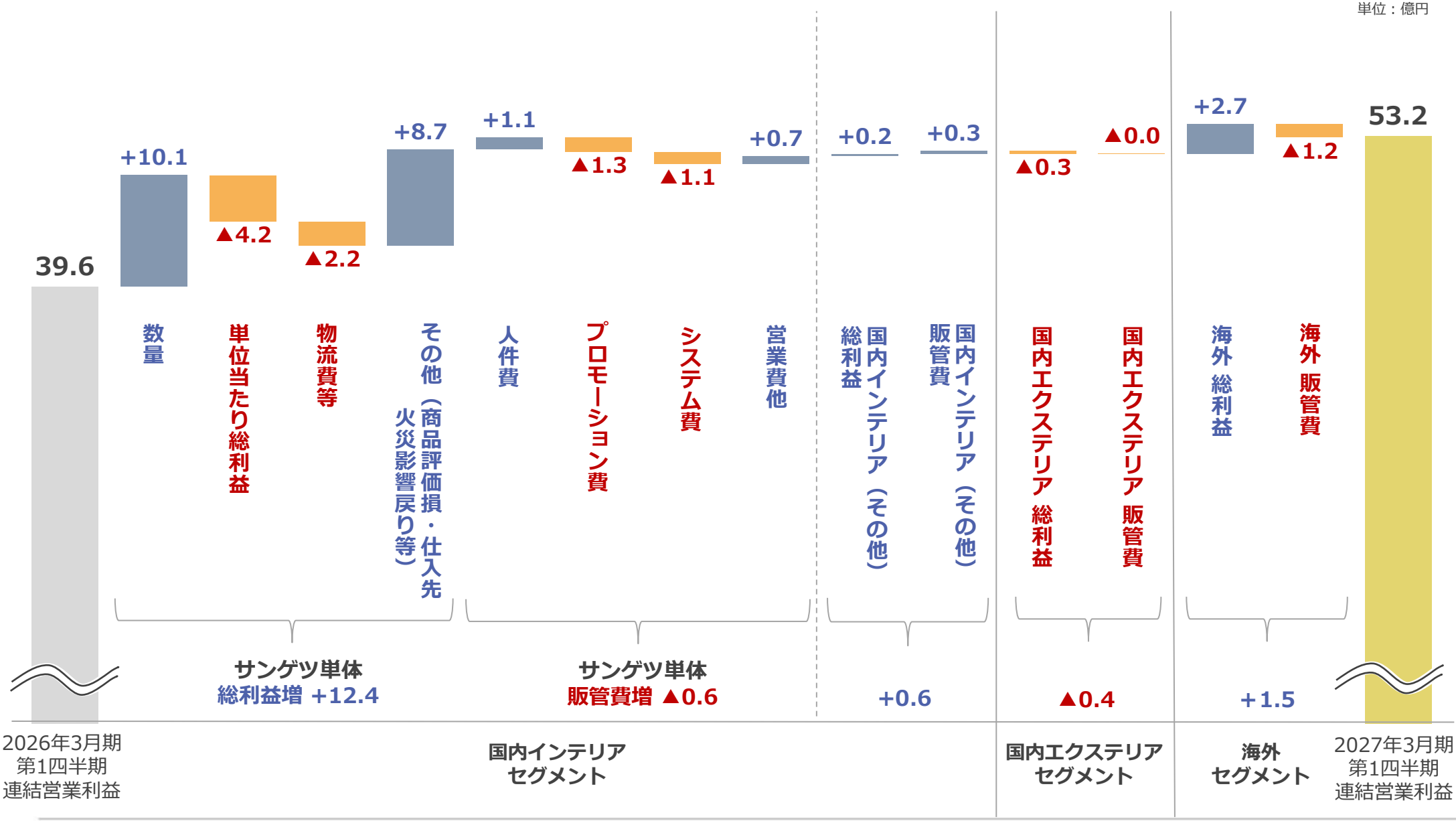
単位：億円



©Copyright Sangetsu Corporation

連結営業利益増減（前年同期比 4-6月）

単位：億円



©Copyright Sangetsu Corporation

連結貸借対照表

単位：億円

		2026年3月末	2026年9月末	増減額	主な増減要因
流動資産		1,180.2	**1,201.1**	+20.9	
	現金及び預金	354.1	**369.6**	+15.5	
	売上債権及び契約資産	589.1	**555.6**	▲33.4	
	棚卸資産	218.1	**256.8**	+38.6	床材見本帳の発刊に伴う一時的な在庫増加等
固定資産		708.8	**709.1**	+0.3	
	有形固定資産	423.0	**423.5**	+0.5	
	無形固定資産	49.6	**46.3**	▲3.2	
	投資その他の資産	236.2	**239.2**	+2.9	
資産合計		1,889.0	**1,910.2**	+21.2	
流動負債		450.1	**434.3**	▲15.7	
	仕入債務	271.2	**274.9**	+3.6	
	短期借入金・リース債務	9.2	**7.5**	▲1.6	
固定負債		216.3	**216.3**	+0.0	
	長期借入金・リース債務	136.1	**134.7**	▲1.3	
負債合計		666.4	**650.7**	▲15.7	
	株主資本	1,104.1	**1,142.3**	+38.2	
	その他の包括利益累計額	111.3	**109.9**	▲1.3	
純資産合計		1,222.5	**1,259.5**	+36.9	

©Copyright Sangetsu Corporation

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

	2026年3月期中間期	2027年3月期中間期	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	+56.6	**+87.3**	
税金等調整前中間純利益	+89.5	**+116.6**	
減価償却費・のれん償却額	+21.5	**+23.4**	
売上債権及び契約資産の増減額	+41.7	**+35.7**	
棚卸資産の増減額	▲10.5	**▲37.6**	床材見本帳の発刊に伴う一時的な在庫増等
仕入債務の増減額	▲38.1	**+2.5**	
法人税等の支払額	▲27.9	**▲35.0**	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲50.0	**▲23.4**	
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	▲32.4	**▲18.3**	クレアネイト東広島工場の機械設備投資等
子会社株式の取得による支出	▲8.3	**-**	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲17.7	**▲49.8**	
有利子負債の増減	+26.3	**▲4.2**	
自己株式の取得による支出	▲0.0	**▲0.0**	
配当金の支払額	▲44.0	**▲45.5**	
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲3.4	**1.4**	
現金及び現金同等物の期首残高	334.4	**350.1**	
現金及び現金同等物の中間期末残高	319.7	**365.5**	

©Copyright Sangetsu Corporation

1.	2027年3月期 第2四半期（中間期）実績	P.3～15
2.	**2027年3月期 業績予想**	**P.17～20**
3.	「中期経営計画 2029」進捗	P.22～40

©Copyright Sangetsu Corporation

業績予想のポイント

2026年11月13日公表

業績予想

- **国内建設市場**
  建設コスト高騰等により新設市場は弱含みで推移する一方、リフォーム・リニューアルは底堅く推移すると見込む。
  （期初見通しから変更なし）
- **連結業績**
  各セグメントの見通しを反映し、売上高・各利益ともに上方修正。
- **国内インテリア**
  他社に先行した価格改定に伴う一時的な数量低下と中東情勢の影響を含むコスト上昇を見込むものの、
  価格改定の浸透等を踏まえ、セグメント業績を上方修正。
- **国内エクステリア**
  上期の下振れを下期の受注積み上げによりカバーする見通しであり、期初予想を据え置き。
- **海外**
  北米については引き続き底堅く推移し、期初予想水準となる見通し。しかしながら、アジアにおける中東情勢の影響を含む
  売上減少を織り込み、セグメント業績を下方修正。

	期初予想（5月13日）			今回予想（11月13日）		
売上高	2,130	億円	YoY +3.2%	2,170	億円	YoY +5.1%
営業利益	190	億円	YoY ▲2.1%	215	億円	YoY +10.8%
営業利益率	8.9	%	YoY ▲0.5pt	9.9	%	YoY +0.5pt
当期純利益	135	億円	YoY ▲7.8%	160	億円	YoY +9.3%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

©Copyright Sangetsu Corporation

連結業績予想

2026年11月13日公表

単位：億円

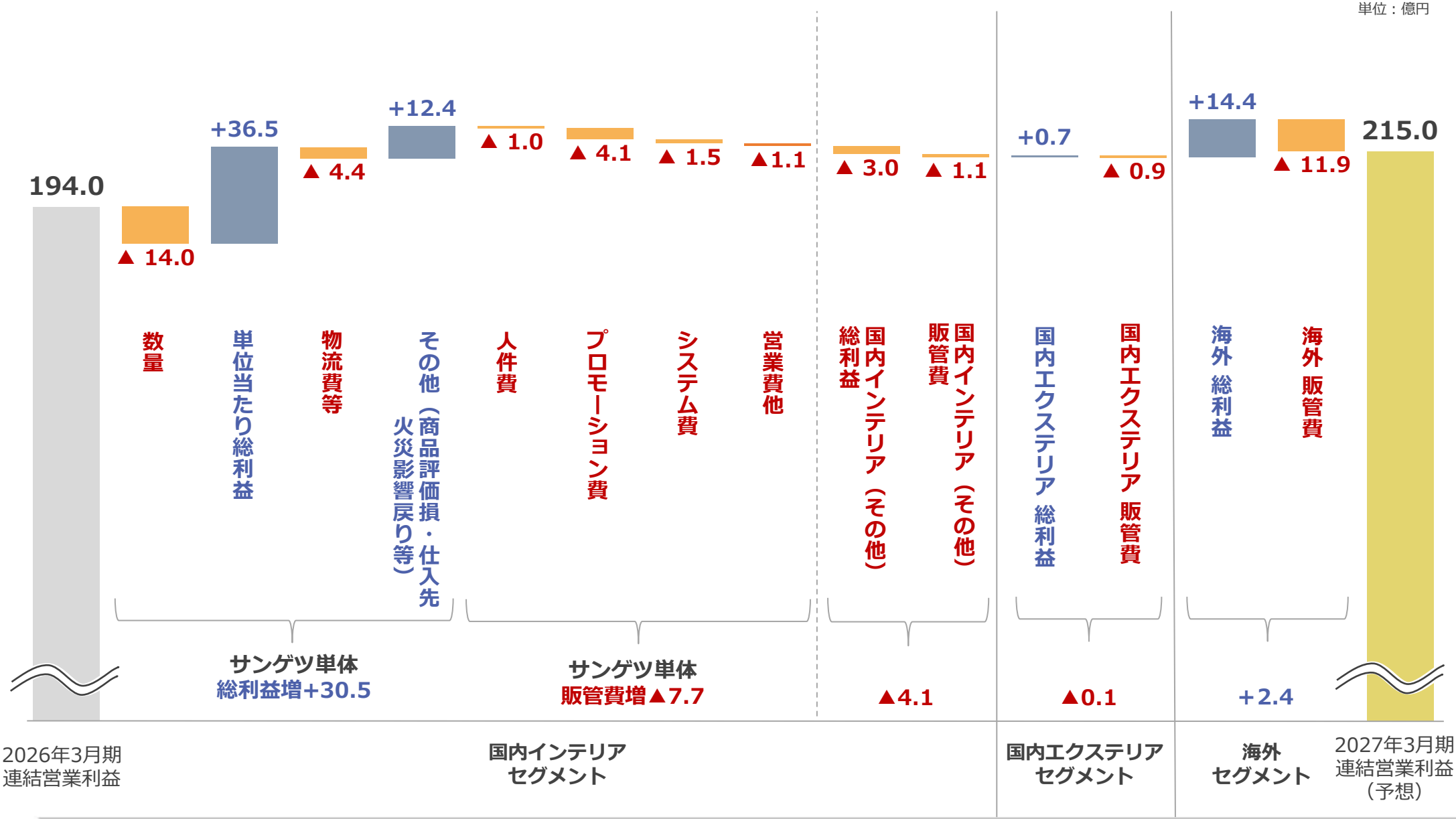
	2026年3月期			2027年3月期					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期			
	実績			実績	今回予想	期初予想	今回予想	前年同期比	期初予想比
売上高	988.9	1,075.4	2,064.4	1,050.2	1,119.7	2,130.0	**2,170.0**	+105.5 (+5.1%)	+40.0 (+1.9%)
売上総利益	306.2	341.0	647.2	332.6	357.3	663.0	**690.0**	+42.7 (+6.6%)	+27.0 (+4.1%)
利益率	31.0%	31.7%	31.4%	31.7%	31.9%	31.1%	**31.8%**	+0.4pt	+0.7pt
販売費及び一般管理費	224.3	228.8	453.2	229.8	245.1	473.0	**475.0**	+21.7 (+4.8%)	+2.0 (+0.4%)
営業利益	81.8	112.2	194.0	102.7	112.2	190.0	**215.0**	+20.9 (+10.8%)	+25.0 (+13.2%)
利益率	8.3%	10.4%	9.4%	9.8%	10.0%	8.9%	**9.9%**	+0.5pt	+1.0pt
経常利益	85.2	116.2	201.5	107.6	114.3	192.0	**222.0**	+20.4 (+10.2%)	+30.0 (+15.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	63.1	83.2	146.4	83.1	76.8	135.0	**160.0**	+13.5 (+9.3%)	+25.0 (+18.5%)

©Copyright Sangetsu Corporation

連結営業利益予想の増減（前年同期比 4-3月）

2026年11月13日公表

単位：億円



©Copyright Sangetsu Corporation

セグメント別業績予想

2026年11月13日公表

単位：億円

		2026年3月期			2027年3月期					
		上期	下期	通期	上期	下期	通期			
		実績			実績	今回予想	期初予想	今回予想	前年同期比	期初予想比
国内インテリア	**売上高**	780.1	860.9	1,641.0	844.6	897.3	1,695.0	**1,742.0**	+100.9 (+6.2%)	+47.0 (+2.8%)
	営業利益	82.5	110.7	193.3	101.3	110.6	182.0	**212.0**	+18.6 (+9.7%)	+30.0 (16.5%)
	利益率	10.6%	12.9%	11.8%	12.0%	12.3%	10.7%	**12.2%**	+0.4pt	+1.5pt
国内エクステリア	**売上高**	33.8	39.2	73.1	32.4	40.5	73.0	**73.0**	▲0.1 (▲0.1%)	- (-)
	営業利益	0.3	0.8	1.1	▲0.5	1.5	1.0	**1.0**	▲0.1 (▲15.4%)	- (-)
	利益率	1.1%	2.1%	1.6%	-	3.8%	1.4%	**1.4%**	▲0.2pt	-
海外	**売上高**	175.0	175.2	350.2	173.2	181.7	362.0	**355.0**	+4.7 (+1.3%)	▲7.0 (▲1.9%)
	営業利益	▲1.0	0.6	▲0.4	1.9	0.0	7.0	**2.0**	+2.4 (-)	▲5.0 (▲71.4%)
	利益率	-	0.3%	-	1.1%	0.0%	1.9%	**0.6%**	-	▲1.3pt
セグメント間 取引調整	売上高	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	-	-	-	-	-
	営業利益	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
合計	**売上高**	988.9	1,075.4	2,064.4	1,050.2	1,119.7	2,130.0	**2,170.0**	+105.5 (+5.1%)	+40.0 (+1.9%)
	営業利益	81.8	112.2	194.0	102.7	112.2	190.0	**215.0**	+20.9 (+10.8%)	+25.0 (+13.2%)
	利益率	8.3%	10.4%	9.4%	9.8%	10.0%	8.9%	**9.9%**	+0.5pt	+1.0pt

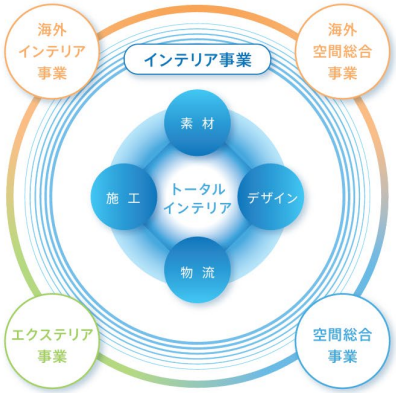
©Copyright Sangetsu Corporation

1.	2027年3月期 第2四半期（中間期）実績	P.3～15
2.	2027年3月期 業績予想	P.17～20
3.	「中期経営計画 2029」進捗	P.22～40

©Copyright Sangetsu Corporation

「中期経営計画 2029」について

目指す企業像



国内インテリアセグメント
- インテリア事業
- 空間総合事業

国内エクステリアセグメント
- エクステリア事業

海外セグメント
- 海外インテリア事業
- 海外空間総合事業

素材とデザインを起点に、
インテリアから文化をつくる企業

基本方針

1．インテリア事業の強化
インテリアの総合企業として、市場ニーズ、社会課題に対応した商品の開発、空間を構成する商材の拡充、デザインをはじめソリューション提案力の強化、ビジネスモデルの変革を加速し、事業の高度化を推進する。

2．空間総合事業とエクステリア事業の育成
インテリア事業とのシナジーを梃子として、グループ会社を含めた事業基盤を確立し、サンゲツグループの中核事業に育成する。

3．海外事業の成長
成長の起爆剤と位置付ける海外事業において、各地域・各グループ会社の独自性・主体性を尊重しつつ、サンゲツグループ内の協業・共創を加速し、収益力の飛躍的向上を図る。

4．次世代事業の探索・創出
インテリアをはじめとするサンゲツグループの既存領域、隣接領域において未来の収益源となる次世代事業を探索・創出する。

5．人的資本
「変革と挑戦」、「イノベーションの創出」を実現、加速すべく、経営戦略に連動した人事施策を実行し、サンゲツグループの人材基盤を強化する。

6．デジタル資本
収益力と資本効率を最大化する戦略資本へと進化させ、蓄積したデジタル資本を駆使してデータドリブン経営を実践し、確かな財務価値を生み出すDX（デジタル変革）を推進する。

©Copyright Sangetsu Corporation

経営指標 連結・セグメント別

単位：億円

		前中期経営計画期間			現中期経営計画期間	
		2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2030年3月期
		実績			今回予想	計画
売上高		1,898.5	2,003.7	2,064.4	2,170.0	**2,500.0**
営業利益		191.0	181.4	194.0	215.0	**250.0**
	利益率	10.1%	9.1%	9.4%	9.9%	**10.0%**
親会社株主に帰属する当期純利益		142.9	125.5	146.4	160.0	**170.0**
ROE		14.1%	11.4%	12.5%	-	**14.0%**
ROIC※		14.8%	13.6%	13.7%	-	**11.0%**
国内インテリア	**売上高**	1,591.5	1,639.8	1,641.0	1,742.0	**1,880.0**
	営業利益	194.8	189.4	193.3	212.0	**215.0**
	利益率	12.2%	11.5%	11.8%	12.2%	**11.4%**
国内エクステリア	**売上高**	64.6	66.1	73.1	73.0	**78.0**
	営業利益	▲0.7	0.1	1.1	1.0	**5.0**
	利益率	-	0.3%	1.6%	1.4%	**6.4%**
海外	**売上高**	242.9	297.9	350.2	355.0	**542.0**
	営業利益	▲3.1	▲8.2	▲0.4	2.0	**30.0**
	利益率	-	-	-	0.6%	**5.5%**

※ROIC＝税引後営業利益÷（運転資本＋有形固定資産＋無形固定資産）

©Copyright Sangetsu Corporation

インテリア事業

成長市場のポジショニング向上

▶2027年3月期 第2四半期（中間期）業績に影響を与えた国内市場動向※

住宅市場（前年同期比）

	着工戸数	床面積
新築	+0.5%	+0.4%

	受注高
リフォーム	+7.6%

非住宅市場（前年同期比）

	床面積
新築（倉庫・工場除く）	▲0.9%

	受注高
リニューアル（倉庫・工場除く）	+18.5%

成長ポテンシャルが顕在化する市場・分野へのアプローチ強化

【面戦略】
全国を網羅する販売ネットワークと
積み重ねてきた強固な営業基盤

【点・線戦略】
専任・プロジェクト単位の活動



×



注力分野一例

**業界トップシェアの「面」の強みと、成長市場をプロジェクトで
カバーする「点・線」のアプローチにより、ポジショニング向上を目指す**

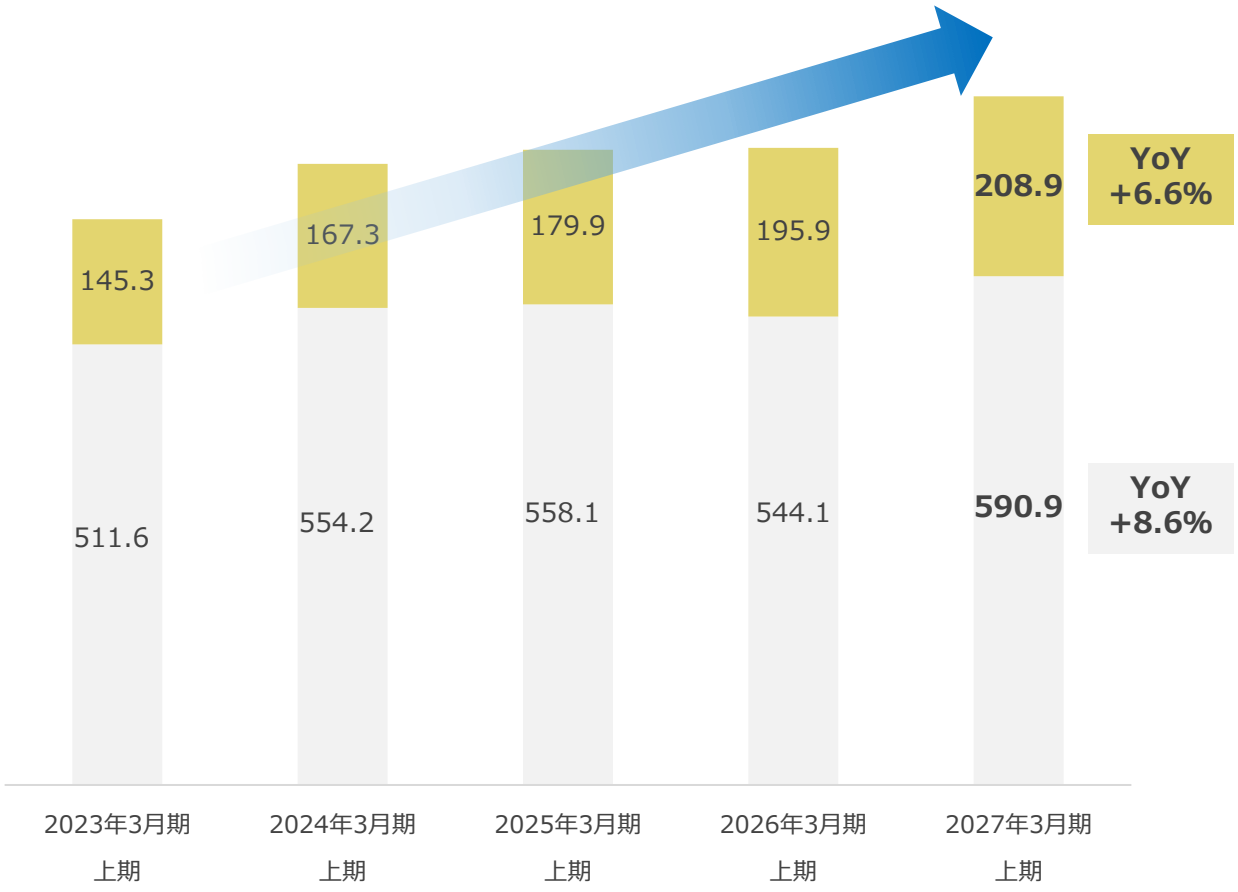
※国交省統計データと当社業績の連動性を踏まえて期間を調整

©Copyright Sangetsu Corporation

インテリア事業

商品ポートフォリオの最適化

単位：億円



区分	内訳
戦略商品	• 高付加価値壁装材・床材（エクセレクト、フロアタイル、カーペットタイル） • 粘着剤付化粧フィルム（リアテック） • ガラスフィルム（飛散防止、遮熱等） • 椅子生地
主力商品	• 壁紙（塩化ビニル壁紙等） • 床材（カーペット、汎用カーペットタイル、長尺シート、クッションフロア等） • カーテン 他

2027年3月期より商品区分を変更しており、2026年3月期以前の数値についても現行区分に組み替えて表示

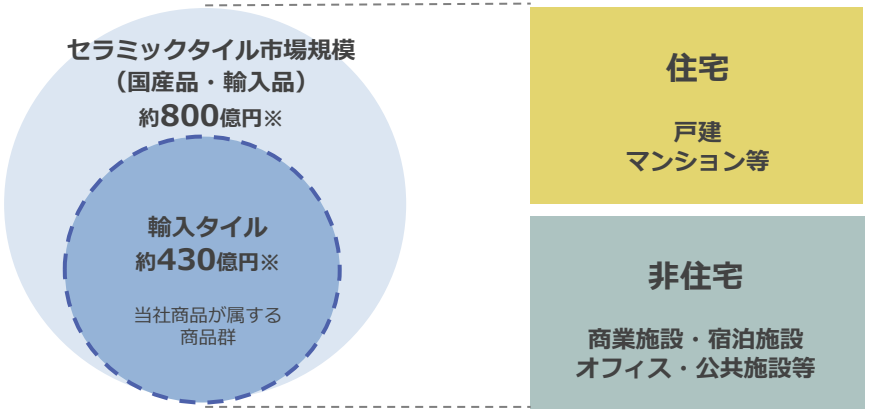
※2026年3月期：主力商品は、仕入先工場火災による一部床材商品の受注停止影響あり

©Copyright Sangetsu Corporation

インテリア事業

商品ポートフォリオの最適化

セラミックタイル　特徴：高意匠・高耐久性



【狙い】

- ✓ 設計・デザイン事務所等の強固な顧客基盤へのアプローチによる早期市場浸透
- ✓ 壁装材・床材・ファブリック、エクステリアの既存商材と掛け合わせた「トータルインテリア」提案による受注拡大

【成果】

- ✓ 住宅・非住宅、新築・リフォーム・リニューアル問わず、着実に採用実績数が増加

【住宅】内装床・内外壁等



田原市K様邸　内装施工：株式会社オブロン

【非住宅】外装床・内外壁・大判タイル等



Landport野田　事業主：野村不動産株式会社、設計・施工：矢作建設工業株式会社、内装デザイン：株式会社サンゲツ

※経産省「生産動態統計」・財務省「貿易統計」（2025年1-12月）及び主要メーカー公表業績等より当社推計

関連リリース

©Copyright Sangetsu Corporation

インテリア事業

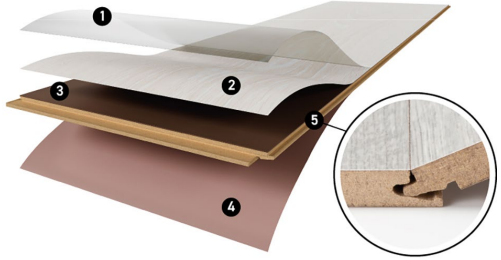
商品ポートフォリオの最適化

新機軸商品：ハイブリッドフローリング



既存床材商品のターゲットになっていない市場

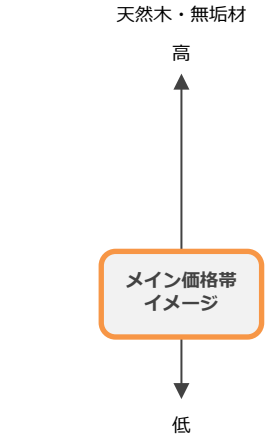
第1段階：市場参入によるブランド確立を目指す



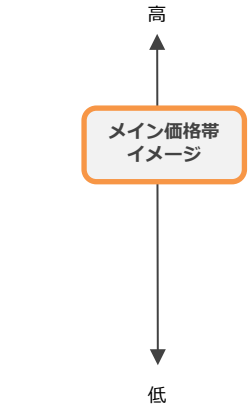
■商品構造

①特殊表面層（メラミン樹脂）
②印刷層（木肌の凹凸を再現する同調エンボス加工）
③基材層
④裏面層
⑤特殊サネ構造
（接着剤を使用しないジョイントシステム）

木質複合フローリング市場 価格ポジション※



当社床材ラインアップ 価格ポジション※



【狙い】
✓ **主にハウスメーカーやビルダー等の既存顧客基盤へのアプローチにより、早期の市場浸透を図る**

【特徴】
✓ **商品力×供給体制：世界大手床材メーカーUnilin（ユニリン）社が開発・製造する「クイックステップ」ブランドの品質と安定供給体制**
※Unilin社製品の取り扱いは国内2社だが、「クイックステップ」ブランドで国内全域をカバーするのは当社のみ

✓ **基材（高密度繊維板/HDF）に100%再生木材を使用したサステナブル床材**

✓ **傷・水に強い優れた耐久性と、接着剤や釘を使用しない「フローティング工法」による簡単施工**

※標準価格での当社推定

関連リリース

©Copyright Sangetsu Corporation

インテリア事業

サプライチェーン最適化

取り組みの背景と目的

外部環境の不確実性

- ✓ 物流人材の不足
- ✓ 各種コストの継続上昇
- ✓ 地政学リスク等による調達懸念

従来のSCM（部分最適）

- ✓ 全社統括機能の不足
- ✓ 経験則に基づく需要予測、在庫・発注プロセス

新たなSCM（全体最適）

- ✓ SCM統括室（DX、商品統括、物流部門中心）による全社横断プロジェクト
- ✓ AI×経験則に基づく高精度の需要予測
- ✓ ロジックに基づく販売・物流計画の高度化、プロセス改善

SCM高度化に向けたステップ

1 → AI解析 → 2（2026年度～） → 3（2027年度～）

1 データ統合

- 過去実績
  （日次・週次販売数量、過去の欠品情報等）
- 商品ごとの特徴データ
  （商品・見本帳属性、季節・市況の変動等）

2 需要予測の高度化と発注量の最適化

- 需要予測の精度向上
- 最適発注量の算出・利用
  （ロジック構築、適用、見える化、改善）

3 業務システムとの連動

- 自動発注の段階的拡大
- 需要予測のさらなる精緻化

©Copyright Sangetsu Corporation

インテリア事業

サプライチェーン最適化

SCM高度化により見込む主な効果

✓ キャッシュ創出力の向上

- 在庫回転日数（サンゲツ単体）
  2026年3月期上期 vs 2027年3月期上期
  数量ベース（期中平均）：**0.5% 改善**
  金額ベース（期中平均）：**1.9% 改善**

✓ コスト低減

- 販売・物流計画の最適化
  廃棄ロス・評価損削減、物流関連費（賃借料、配送回数改善等）低減等
- 庫内、配送オペレーションの生産性向上
- 物流拠点の最適化

✓ サービスレベルの安定化

- 欠品率の低減による販売機会の最大化
- 納期遵守率の向上
- 商品、物流、作業工程等における品質・安全性の向上

データドリブンなSCM構築を通じて、
収益性・資産効率・キャッシュ創出力の向上を図る

売上高当期純利益率

総資産回転率

関連指標（連結） 単位：日	2024年3月期 9月末	2025年3月期 9月末	2026年3月期 9月末	2027年3月期 9月末
売上債権回転期間	102.3	97.1	92.6	91.2
棚卸資産回転期間	59.9	55.7	54.1	56.4※
仕入債務回転期間	90.5	87.1	72.6	68.2
CCC	**71.7**	**65.7**	**74.1**	**79.4**

各指標は各期の9月末時点の残高に基づく

財務レバレッジ

ROE

経営戦略に基づく財務・資本戦略からのアプローチ

※2027年3月期9月末は、床材見本帳の発刊準備に伴う一時的な在庫増加により悪化

©Copyright Sangetsu Corporation

空間総合事業

成長事業への育成　重点施策の進捗

課題　**組織体制の再編と事業基盤の確立（各機能の強化と一気通貫でのマネジメント体制）**

営業	提案	見積	設計	施工
サンゲツの販売網を活用した営業活動の強化	受注率向上に向けた提案力強化	徹底した採算管理とパートナー企業連携によるコスト合理化	コンプライアンスと品質を担保する設計体制の強化	確実な実行予算管理と安全を最優先にした施工品質の確保

サンゲツの強み

インテリア商品の品揃え
販売ネットワーク

×

グループシナジー

グループ会社フェアトーンとの
シナジー創出



重点施策が着実に進捗
グループシナジーによる成果を創出

【納品実績】
物件名：プラザ・プレミアム・ラウンジ名古屋(国内線出発)
完成時期：2026年8月
場所：愛知県常滑市
クライアント：Plaza Premium Group
工事区分：
- 内装（デザイン・設計・施工）
- 造作家具（デザイン・設計・施工）
- サイン（計画・デザイン・施工）　他

©Copyright Sangetsu Corporation

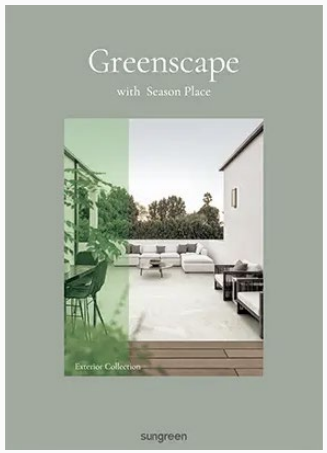
エクステリア事業

成長事業への育成　重点施策の進捗

課題　**サングリーン自社ブランド商品の企画・開発と関東地方での業容拡大**

NEW 商品企画・開発 → 製造 → 物流（外部） → 商品販売 → 施工

サングリーンにおけるグループ間連携強化



PBカタログ「Greenscape」※

【狙い】
サングリーン自社ブランド商品による収益力強化と競争優位性の向上

【進捗】
2026年1月に関東地方で販売開始し、9月には主力市場である東海地方に販売エリアを拡大

【重点施策】
シェアの高い東海地方での販売体制構築により拡販を加速

【サンゲツとのシナジー】
サンゲツ・サングリーン両社の顧客基盤をいかした相互アプローチ

【販売連携】



✓ **サンゲツの販売ネットワークを起点とした連携により、商品販売・施工案件の受注が進捗**

【物流連携】



✓ **サンゲツおよびグループ会社SDSとの物流機能の連携をスタート。共同配送による物流効率化とコスト削減を狙う**

※サンゲツカタログ「SeasonPlace vol.1全編」および「Viviente vol.1」のアウトドアタイル抜粋も収録
特設サイト「Greenscape」

©Copyright Sangetsu Corporation

海外インテリア事業・海外空間総合事業

海外セグメント（連結累計期間は2026年1～6月）

単位：億円

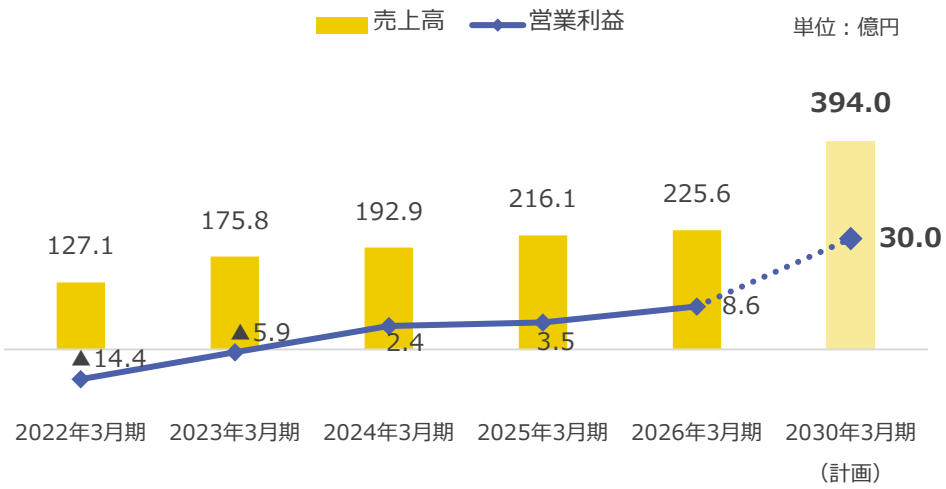
		2026年3月期	2027年3月期	
		上期	上期	前年同期比
売上高	北米	111.0	**121.5**	+10.5 (+9.5%)
	東南アジア（インテリア）	19.4	**20.3**	+0.9 (+4.9%)
	東南アジア（空間総合）	40.2	**27.5**	▲12.6 (▲31.5%)
	中国・香港	4.5	**4.2**	▲0.3 (▲7.0%)
	連結調整他	▲0.2	**▲0.4**	▲0.1 (-)
	合計	175.0	**173.2**	▲1.7 (▲1.0%)
営業利益	北米	3.1	**6.6**	+3.5 (+114.7%)
	東南アジア（インテリア）	▲0.2	**▲0.6**	▲0.4 (-)
	東南アジア（空間総合）	▲1.2	**▲0.0**	+1.2 (-)
	中国・香港	▲0.9	**▲0.3**	+0.6 (-)
	連結調整他	▲1.7	**▲3.6**	▲1.9 (-)
	合計	▲1.0	**1.9**	+3.0 (-)



©Copyright Sangetsu Corporation

海外インテリア事業・海外空間総合事業

北米：オーガニック成長の取り組み方針



KOROSEAL社 会社概要 ※2026年11月時点

- ビジネスモデル：壁装材の製造・販売
- 販売エリア　：米国・カナダ全土
- 製造拠点　：米国1拠点
- ショールーム　：北米4拠点
- 取り扱い商品　：壁装材（塩ビ・非塩ビ壁紙、フィルム等）
- メイン市場　：ホテル、オフィス、ヘルスケア施設等の非住宅市場中心

☑ 自社製造壁紙の販売数量拡大

自社・OEMブランドの販売強化による生産数量増加により、工場稼働率を高めることで生産効率を改善

売上拡大・利益率改善

☑ 既存顧客への商品領域拡大

壁紙にとどまらず、壁装材の商品ラインアップを拡充。顧客接点の活用などKOROSEAL社の開拓余地が大きい市場での拡大を目指す

顧客接点をいかした販売機会の創出

☑ IT投資による基盤の高度化

デジタル化と、顧客インターフェイスの高度化を推進し、事業拡大を支える基盤を強化

生産性向上・サービス品質向上

売上拡大 × 収益性向上

オーガニック成長により、同社利益成長の半分（約10億円）を創出

北米　営業利益　**8.6**億円（2026年3月期）▶ **30.0**億円（2030年3月期（計画））

©Copyright Sangetsu Corporation

経営基盤　DX戦略

DX戦略の全体像

✓ 目指す企業像の実現に向けて、経済価値を生み出すDX（デジタル変革）を推進

イノベーション

進化×深化を担い直接的な経済価値を創出

- ビジネスプロセス自動化
  AIによる判断高度化と業務の標準化・生産性向上
- SCM高度化
  客観的データに基づく最適在庫とサプライチェーン連携

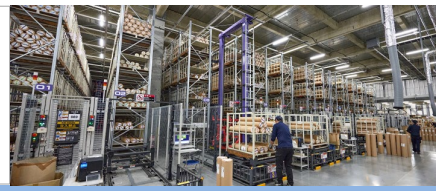
ガバナンス・レジリエンス

持続可能な成長のためのインフラ整備

- 生成AI前提のビジネススタイル
  全従業員のITリテラシー底上げと業務プロセスの再設計
- セキュリティフレーム最新化
  ゼロトラスト化の加速とクラウド技術の全面的活用

取り組み事例

SCM 高度化



✓ SCM × AI活用

高精度な需要予測による収益基盤の強化

プロセス 自動化



✓ プロセス自動化

IT、AI活用による属人的なビジネスプロセスの自動化による生産性向上

人的資本 強化



✓ ITリテラシーの向上

ITリテラシーの底上げを図るための実践的な成長支援プログラムの実施

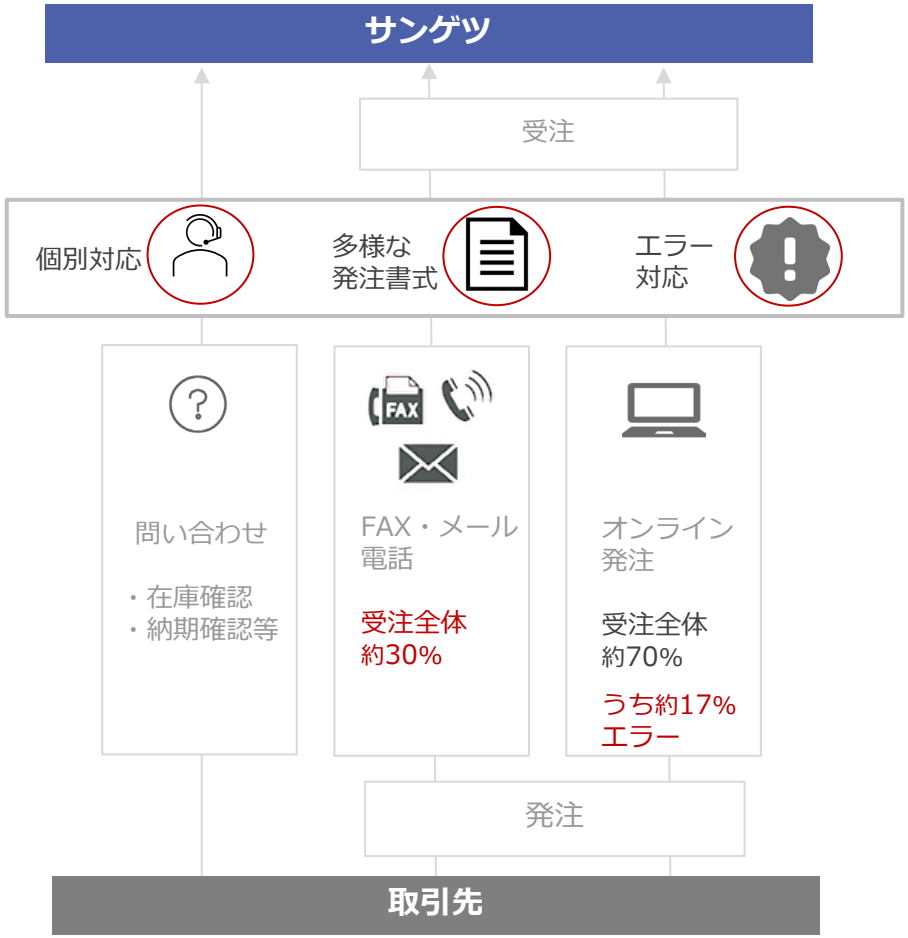
©Copyright Sangetsu Corporation

経営基盤　DX戦略

共創によるバリューチェーン全体の高度化

✓ **目指す姿：2029年度に向けた取引先目線でのサステナブルな事業体制の構築**

<推進業務改革プロジェクト>



AI・システム開発による
ビジネスプロセス効率化

AI

ユーザビリティの高い
取引先視点のWEBサイト

既存プロセスの高度化

✓ **取引先満足度向上**
取引先完結型のWEBプラットフォームによる利便性と競争優位性の確立

✓ **生産性向上**
デジタル化による標準化で、
当社・取引先の業務効率化を推進

✓ **サステナブルな事業体制の構築**
人手不足等による事業継続リスク低減
オペレーション費用の最適化

成長に向けた最適な資本配分

✓ **コア業務への人的資本シフト**
リソースの最適配分を通じ、インサイドセールス等への営業活動を拡大

©Copyright Sangetsu Corporation

経営基盤　人材戦略

「変革と挑戦」「イノベーションの創出」を牽引する人的資本の拡充

✓「構想力」「実行力」「倫理観」に裏付けられた人材の育成を加速し、「変革と挑戦」「イノベーションの創出」を実現する

▶ 人材育成に関する施策

NEW「戦略構想プログラム」

課長クラスの選抜メンバーによる自社の事業課題を題材とし、新たな価値創造・新規事業を社長・経営に提言する実践型プログラム





NEW「DX推進研修」

各部門におけるDX推進を牽引する「DXパートナー・リーダー」を育成する研修。課題解決の思考プロセスとプロジェクトマネジメント手法を学び、 ITを活用した業務効率化の実現に繋げる

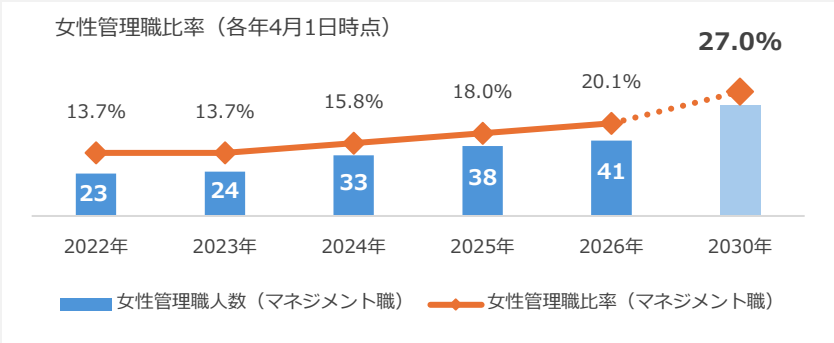
継続実施「他社・異業種交流（アイディアソン）」

特定のテーマに沿って、多様な背景を持つ他企業と短期間で議論を行い、新規アイデアを創出する共創型プログラム

▶ 組織風土改革に関する施策

「DE&Iの深化」

持続的な企業価値向上を牽引する「価値創造の源泉」と位置付け職場環境やスキル開発の両面から推進



「自律的キャリアデザインの促進」

社員の主体的なキャリア構築を後押しするべく、社内にキャリアコンサルタントを配置。評価制度見直しや社内インターン制度等の仕組みを整備

「インナーブランディングの強化」

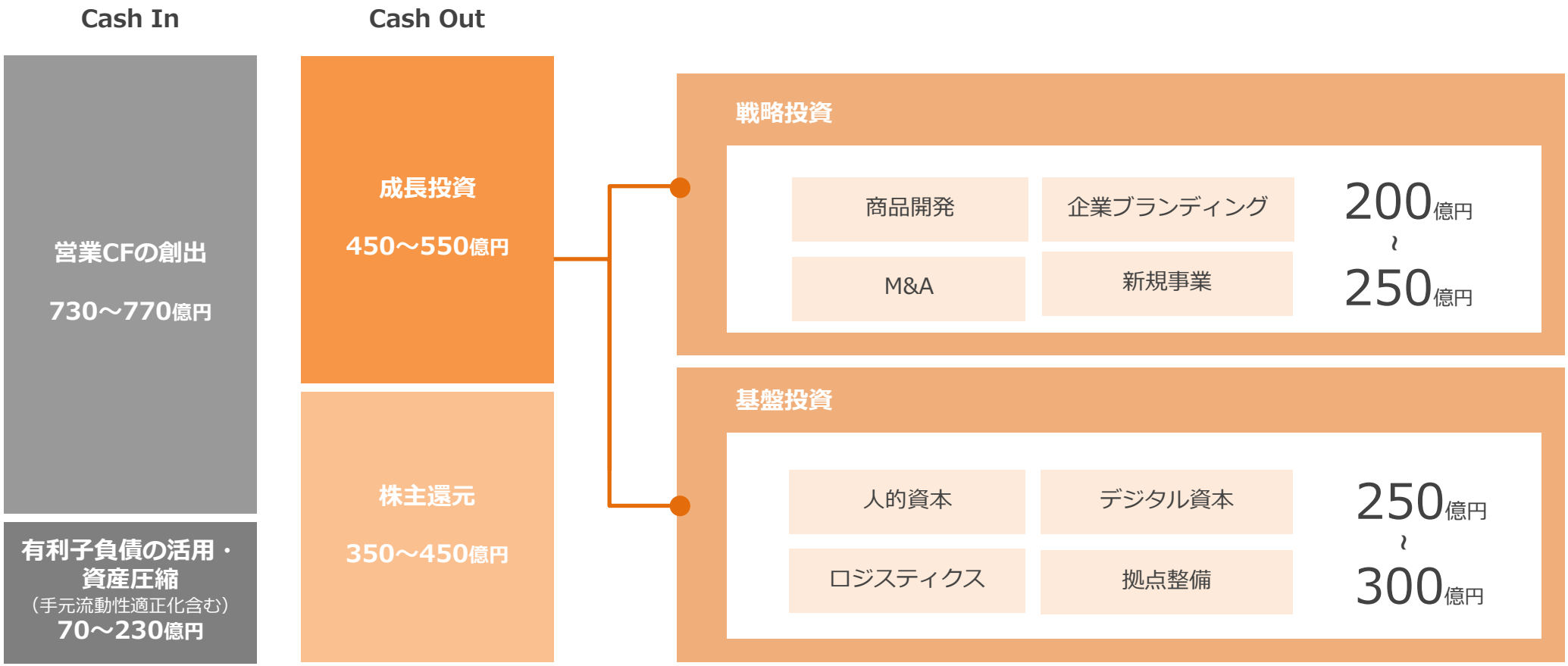
部署・階層間の壁を越えた「全社的な連帯感」を醸成するため、双方向の対話機会や、WEB社内報等を活用したコミュニケーションの促進

©Copyright Sangetsu Corporation

財務・資本戦略　※2026年5月発表：中計資料の再掲

資金配分

成長投資と資本最適化の両立。機動的な資金配分により、ROE14%の達成に向けた利益創出に資する成長投資と、最適な資本構成の構築を実現する。
なお、資本効率や成長投資等の状況を鑑み、機動的に追加還元を行うことも視野に入れる。



©Copyright Sangetsu Corporation

財務・資本戦略　株主還元実績・予想

2026年11月13日公表

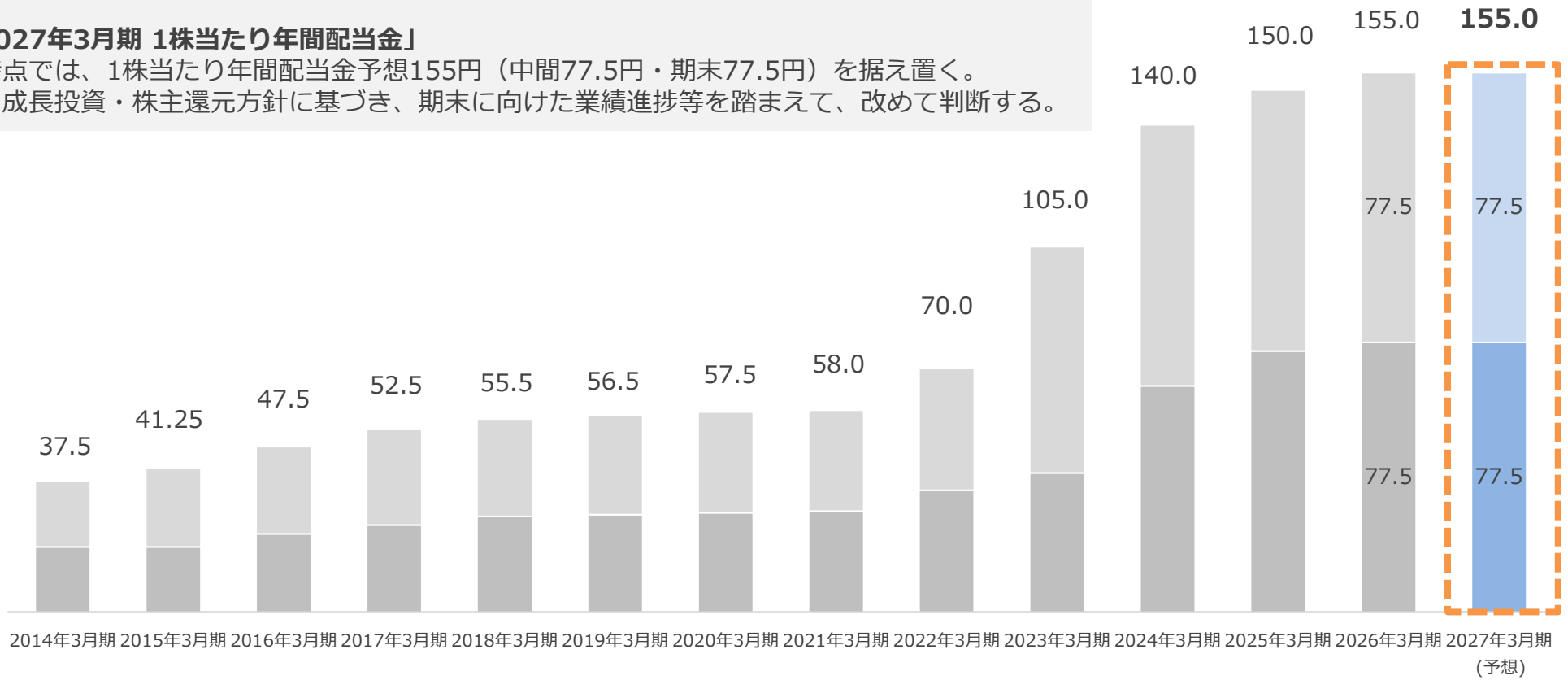
▶「中期経営計画 2029」｜株主還元方針

- 株主還元は安定配当を基本とし、1株当たり年間配当金155円の下限設定と配当性向※60%以上を目安に増配を目指す
- 市場環境や資本効率、成長投資等の状況を鑑み、適宜自己株式の取得を検討する

▶「2027年3月期 1株当たり年間配当金」

中間時点では、1株当たり年間配当金予想155円（中間77.5円・期末77.5円）を据え置く。
なお、成長投資・株主還元方針に基づき、期末に向けた業績進捗等を踏まえて、改めて判断する。

単位：円



	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期（予想）
配当性向	52.3%	70.7%	52.8%	53.8%	80.5%	98.6%	244.1%	73.4%	1,503.5%	44.0%	57.5%	70.2%	62.2%	**57.0%**

※配当性向の算出における利益は「一過性の特殊要因」を控除したものをベースとします。

©Copyright Sangetsu Corporation

経営基盤　サステナビリティ

持続可能な企業活動に向けた取り組みと進捗

	テーマ	主な取り組み
地球環境保全	脱炭素：サプライチェーン全体のGHG削減	• Scope1・２削減に向けた再エネ電力の調達 • Scope3削減を目的としたSBT※1認定取得に向けた対応
	資源循環：廃棄物削減、見本帳リサイクルの推進	• 廃棄物のマテリアルリサイクルの推進 • 見本帳リサイクル拡大に向けた取り組みが予定通り進捗
	環境配慮型商品の拡充：社会課題の解決、市場ニーズに資する商品開発の強化	• 基材に100%再生木材を使用した「ハイブリッドフローリング」の販売開始 • 複数商品でのEPD認証取得対応※2
企業活動における人権尊重	サプライチェーンにおける公正な取引および人権尊重	• 取引先へのCSRアンケートおよび実査の実行 • 公正かつ共存共栄な取引関係の強化に向けた仕入先説明会の実施
	すべての企業活動における人権侵害の撲滅	• 人権関連セミナーの実施 • 就活ハラスメントに対する方針の策定
社会貢献活動の推進	支援が必要な子どもたち、難民等への継続的支援	• 次世代支援や住まいに関する社会課題の解決に向けた４団体への継続支援の実施 • 中部地方初の地域型こどもホスピス「長久手のおうち」への内装支援実施
	企業活動を通じた文化・芸術への貢献	• 「HERALBONY Art Prize」への協賛（ゴールドパートナー） • 「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭 2026」への協賛（メインパートナー）
ガバナンスの強化	企業価値向上に向けたガバナンス体制の強化	• リスクマネジメントの実効性強化に向けたリスク管理評価基準の見直し
	取締役会の実効性強化	• 取締役会実効性評価を踏まえた課題の抽出および対応計画の策定
	グループ全体でのコンプライアンスの徹底	• 全グループ会社でのコンプライアンスサーベイ実施 • コンプライアンスセミナーの実施

※1 Science Based Targetsの略称であり、国連グローバル・コンパクトや世界自然保護基金などが共同で設立した国際的なイニシアチブ「SBTi」が認定する科学的根拠に基づいた企業の温室効果ガス排出削減目標

※2 EPD（Environmental Product Declaration）は、LCA手法を用いた製品の環境影響を定量的に評価・開示する枠組み

©Copyright Sangetsu Corporation

参考：「中期経営計画 2029」サステナビリティ目標

DE&I

■**女性管理職比率**※

単体：**27%**

■**男性育休取得率**

単体：**100%**

コミュニティへの参画

■**児童養護施設改修活動**

連結：**50件/年間**



地球環境保全

■**脱炭素**

1）SCOPE 1 ・ 2 （2021年度比）

単体：**カーボンニュートラル**

連結：**55%削減**

2）SCOPE 3

連結：**仕入先GHG排出量削減**

■**資源循環**

単体：**見本帳リサイクルの推進**

■**商品を通じた環境負荷低減**

単体：**環境配慮型商品の拡充**









※女性管理職比率の定義：本中期経営計画から、対象を「プロフェッショナル職含む」から「マネジメント職」に変更

©Copyright Sangetsu Corporation

将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。
これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

©Copyright Sangetsu Corporation

Joy of Design